

# みかぼだより



〒 375-0021 群馬県藤岡市小林698番地1 TEL 0274-50-6100

# **NEWS LETTER**

#### 代表挨拶

皆さま いかがお過ごしでしょうか?

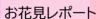
ロシアのウクライナ侵略の終結が見えず、また新型コロナウイルスの対策も未だ行 方が定まっておりません。弱毒化に伴って2類感染症から5類感染症への変更が取り 沙汰されておりますが、参院選の際の公約にするつもりなのか岸田首相はなかなか 決断をする様子がありません。

さて、みかぼの郷においては昨年の秋に植えた桜の花が咲き、肌寒い日ではありま したがささやかなお花見ができました。植えたばかりのため花が少なかったようで すが、来春はもっとたくさんの花が咲くことを楽しみにしています。

暖かくなりましたので園庭を散歩することもできるようになりました。新型コロナ 対策ということで過去2年もの間、外出や面会が思うようにできませんでしたので、 日光を浴びたり、自然な風に触れることを思う存分していただければと思います。 また面会の制限も緩和しましたので、ぜひ足を運んで頂けると幸いです。 粗品を用意してお待ちしております。



代表 小林浩一





春の暖かさを感じられるようになった4月、 蔓延防止措置も解除されたため、当所では少人 数で数日間にかけてお花見レクを行いました。 満開の桜の木の下でおやつを頂き、たくさんの 笑顔が見られました。

これから、コロナの状況を見ながら外出する 機会を増やしていき、入居者様の笑顔も増やし ていきたいと思っております。











### 職員紹介

岡山亮子(介護福祉士·生活相談員)

みかぼの郷での仕事が決まった時、以前 一緒に仕事をしていた先輩介護士から 「認知には笑顔!頑張って!」と送り出し て頂きました。その言葉を忘れず日々笑 顔で接していけたらと思っています。

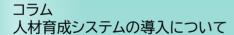


## 頼れる二人からメッセージ

チームワークを大事に、困ったときは声を掛け合い頑張っていきたいです。現在、みかぼの郷では岡山・千木良・中田の3人で生活相談員をさせて頂いていますが、まだまだ頼りないところがいっぱいです。日々、勉強してまいりますのでご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

千木良桐子(介護福祉士·生活相談員)

はじめまして、千木良です。 みかぼの郷に入職しての目標、それはケアマネージャーの資格を取得することです。スキルアップをしたい!仕事に限らず、全てにおいてアップしたい!そう思っております。





人口急減と超高齢化が到来するといわれる2025年問題。後期高齢者の増加は介護・医療のニーズにも影響を 及ぼすと言われています。さらに、今後人口の約4人に1人以上が高齢者という計算になり、高齢者の増加とと もに認知症患者数も今以上に増えることが想定されます。少子化による労働人口の減少も要因となり、介護業 界は人材不足の状況です。また、人材不足の理由の1つには介護人材の離職率の高さが挙げられます。令和2年 度は平成17年度以降最低の離職率となりました。介護労働実態調査によると、離職原因の約20%が職場の人間 関係問題だそうです。

このような状況の中で、離職防止と人材定着率向上のための対策が重要になります。その対策として効果的なのが、<mark>人材育成の強化</mark>です。教育や研修を行うことにより、技術の向上や、仕事に対するモチベーションアップが期待できます。一人ひとりの職員が向上心を持って業務に臨むことで、職員同士に協力体制が生まれ、人間関係にも良い影響をもたらします。

そこで今回、幅広い知識や技能を備え、なおかつ入居者ファーストの視点をもって施設に貢献できる職員育成を目標とし、職能等級制度(クリニカルラダー)を導入することにいたしました。クリニカルラダーとは、はしご(ラダー)をのぼるように一段一段キャリアを向上させていく仕組みです。ステップごとに求められる課題が明確なので、目標を立てながらスキルアップできます。できることが広く深くなっていくにつれ、やりがいも大きくなり、さらなる意欲が生まれます。 クリニカルラダーは日本看護協会で取り入れられている人材育成システムです。近年では介護業界でもこういった教育を取り入れる傾向にあります。新たな教育システムの導入により、職員一人ひとりが自身の課題と向き合い目標を定め、その目標達成のために日々努力することで、施設全体の介護サービスの質の向上を目指してまいります。

文:久保昇子(デイサービス管理者・看護師)

\*

参考文献:「令和2年度介護労働実態調査 看護教育学」 杉森みど里・舟島なをみ著、医学書院